

この人に聞く!!
金子 絵里さん



プロフィール
(ファミリー・サポート・センター両方会員)
5才の男の子の子育て真っ最中。小学校の教員(非常勤)の仕事の続けながら、両方会員として活躍されています。



両方会員(子供を預ける依頼会員と預かる提供会員の両方に登録)になろうと思ったきっかけを教えてください。

何よりも困っている時つい時に、気軽に預けられる場所がないご家庭へのサポートが少しでもできればと思い、両方会員になりました。

毎月の説明会の時に救急救命講習を受けると、両方会員になれます。

実際に活動を始めてみて、良かったと思う経験をお聞かせください。

普段なかなか会うことのない地域の方々繋がれます。

私は出身が台東区や東京ではないので、お世話になっているファミサポの方を街でお見かけすると、とても嬉しくなります。

私もそうですが、核家族で地元を離れて住んでいると誰でも心細く不安になることもあると思います。

すぐ近くに相談したり預けたりできる人がいるというところは、私にとって育児の上で、大きな支えとなりました。

今後の社協に期待することをお聞かせください。

ファミサポ会員としても感じるのですが、より多くの人に社協のことを知って頂きたいですね。社協の方からもっと地域に出て行って、

学校やいろいろな機会をとらえて呼びかけるなどしたら、会員も増えていくのではないのでしょうか。

子育て真っ最中の皆さんへのメッセージをお願いします。

子供を預けることは、良くないことではありません。中には子供や親に冷やかな態度をとる方もいて、育児に自信がなくなっている時は、特に敏感になり、周りが皆批判的な目で見るように思えるかもしれません。私も悔しくて涙を流したことがあります。遠方に住む私の母も、「子供を気分転換のために人に預けるなんて」と眩しくもありました。

たとえば、子供を預けて夫婦で食事に行くというスタイルは、海外では当たり前でも、日本ではまだまだ普及していません。さまざまな考え方がありますが、親は皆初めての育児で不安の中、体を張り、それぞれ一所懸命です。

親が笑顔で元気が一番です。それは子供のためでもあります。親がイライラしたり辛くなったりすると、すぐに子供にも伝わり、何かしら子供も反応し、悪い連鎖が続きます。一人で無理して我慢せず、ファミサポの方に相談するなど、気分転換してください。

育児をしている親を応援して下さる方々が、ファミサポにはたくさんいるというのを是非知ってほしいと思います。

これから地域で何か始めたいあなたにぴったり!

ボランティア・地域活動入門講座「ファーストステップ」のご案内

「ボランティアをはじめたい」「地域活動に興味がある」方を対象にした入門講座です。
「ボランティア・地域活動に興味はあるけど、どうしたらいいのだろう?」という方、ぜひご参加ください。
また、平日のご来所が難しい方向けに第3土曜日の土曜開所日にも開催しています。

開催日: 毎月第1木曜日13:00~14:00 第3土曜日10:30~11:30
※平成31年1月は10日・19日に開催
※開催日への参加が難しい場合は応相談
定員: 5名(予約制)
※人数等により「出前講座」も実施いたします。

はっぴい写真大募集!!

はっぴいと一緒に写真を撮って、社協の広報誌にあなたの写真を載せませんか?

地域の皆さんとはっぴいと一緒に写っている写真を募集しています!はっぴいと一緒にのHappyな写真を、社協広報誌「自立」に載せませんか?皆さんのご応募をお待ちしています!!



応募先: happyphoto@taitoshakyo.comまで
庶務係 ☎03-5828-7545



台東区社会福祉協議会のホームページやフェイスブックでも随時、情報を更新しています。こちらもぜひご覧ください。



社会福祉法人 台東区社会福祉協議会
〒110-0004 東京都台東区下谷1-2-11
☎03-5828-7545(代表) FAX.03-3847-0190

ホームページアドレス
<http://www.taitoshakyo.com/>

たいとう社協

検索

<https://www.facebook.com/taito.csw>

受付時間 月~金曜8:30~17:15
(祝日、年末年始はお休み)

